

夢 タウン まつぶし

議会だより

第119号

令和4年10月27日発行

松伏田島産業団地造成工事完成

9月定例会

- 令和3年度決算 …………… 2・3P
- 議案・人事、補正予算、議案の採決 …………… 4P
- 委員会報告、意見書、決議 …………… 5P
- 防災備蓄センター、政務活動費 …………… 6P
- 9人の議員が「町政」を問う …… 7～11P

令和3年度 一般会計歳入歳出決算額

「各世代が笑顔あふ

令和3年度一般会計決算は、歳入総額114億8,360万8,000円、歳出総額104億32万7,000円、新型コロナウイルス感染症からの持ち直しの動きが見られたが依然として厳しい状況が続いており、付事業を除けば、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫支出金により、町

評価

○新型コロナウイルス感染症関連

- ・感染症拡大防止対策事業（公共施設のトイレの洋式化、手洗等の自動水栓化）
- ・経済的支援事業として全世帯にクーポン券を配布
- ・子育て世代臨時特別給付金の給付
- ・中小企業、農業者への支援金交付

○結婚新生活支援事業

○子ども虐待の未然防止策として、子ども家庭総合支援拠点を整備

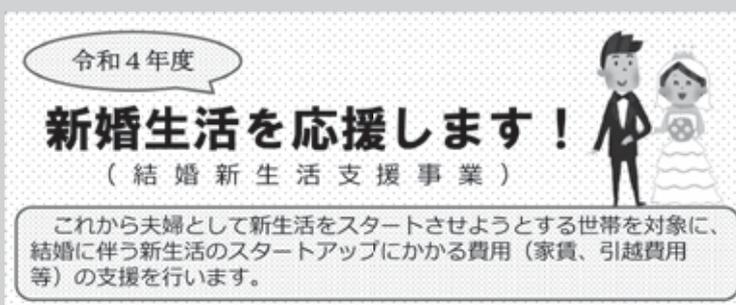
○早期不妊検査・治療費助成事業の実施

○高齢者福祉タクシー利用助成制度の拡充

○プロスポーツ選手による教室を開催

○魚沼地区内の水路改修工事の実施

○「カレーのまちづくり」の協力店舗の増加促進



賑わうバーベキューサイト（県営まつぶし緑の丘公園）

○県営まつぶし緑の丘公園にバーベキューサイトの整備

○災害時の情報収集困難者対応として、災害情報発信サービスを開始

○指定避難所である各小中学校の受水槽に非常用給水栓を設置

104億32万円

認定

9月定例会

9月1日から9月26日

れる町づくり」

差し引き10億8,328万円の残額。実質収支は、9億8,674万1,000円となった。令和3年度は個人町民税、固定資産税は減収となった。しかしながら、令和2年度実施の特別定額給付金給全体の歳入は増額となった。

課題

- 新型コロナウイルス感染症による影響が続き、税収が減少する中、国や県の補助制度や交付金の活用が求められる。
- 高齢者施策である交通弱者対策事業の活用が充分されていない。
- 生活道路や農道の保全が充分行われていない。
- 医療費の抑制、町民の健康維持には、特定健康診査（健康診断）の受診率向上が重要。（受診率が5市1町で下から2番目と悪く、県平均も下回る）
- 町民の健康意識向上が必要。（例：埼玉県健康マイレージの参加者が増えない）

【賛成討論】

自民クラブ

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、様々な経済的支援（子育て世帯臨時特別給付金等）と感染拡大防止（公共施設の自動水洗化等）が行われ、真摯な取り組みに感謝する。新規事業（結婚新生活支援事業）により、転入しやすい環境が図られた。松伏田島産業団地等の企業誘致に取り組み、町の税収増と雇用確保に向けた取り組みを評価する。

【賛成討論】

公明党

新型コロナウイルス感染症に対する事業が多くあり、経済的支援、感染防止に寄与したと評価する。消費生活支援センター、子ども家庭総合支援拠点、サテライト事業所を活用したひきこもり等の支援に取り組まれたことを評価する。地震洪水ハザードマップを作成し、防災情報通信システムを準備したことで、町民の防災力強化につながると評価する。

【反対討論】

日本共産党

新型コロナウイルス感染症対策として、子育て世代、非課税世帯、ひとり親家庭への支給事業は、事務手続きも適正で間違いなく支給できたことは評価する。しかし、一般財源の有効活用については疑問がある。高齢者や交通弱者の外出支援事業であるタクシー券補助制度も、利用しにくいという意見があり、公共交通施策策定が遅れている。また、生活道路の改修改善、排水路の泥さらい等は、進んでいない。町の都市公園などの整備も十分ではない。これらの改善を求める。

人事

松伏町教育委員会教育長の任命

岡田 直人氏 (再任) 任期：令和4年10月1日から令和7年9月30日まで

松伏町公平委員会委員の選任

中川 由美子氏 (新任) 任期：令和4年10月1日から令和8年9月30日まで

条例

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

改正内容①取得回数の緩和(1回→2回) ②非常勤職員の取得要件の緩和(子の誕生日から57日以内に育児休業を取得する場合に必要な雇用期間が1年6ヶ月→約8ヶ月) ③育児休業開始日の緩和で、非常勤職員も夫婦交替で取得できるようになる。

松伏町手数料条例等の一部を改正する条例

全国のコンビニ等でマイナンバーカードを利用して、住民票の写し・印鑑登録証明書・課税証明書等の税の証明書を取得した際の交付手数料の追加。令和5年2月1日に施行する。

令和4年度松伏町一般会計補正予算 (第4号)
9億1,470万円の増額 (年度総額103億9,200万円)

- 企業版ふるさと納税支援業務委託料 66万円**
 企業から寄付があった場合、成功報酬型委託料として寄付額の10%(パンフレット作成を含む場合は20%)を支払う委託契約。企業からの寄付がなければ委託料は発生しない。
- 都市公園等維持管理事業 公園管理委託600万円・施設等整備工事860.7万円**
 施設等整備工事：使用禁止と判断されたが修繕が不可能な遊具の撤去費。新たに田中第三公園、くすのき公園へ滑り台、田中第四公園に複合遊具の設置を予定。
- 学校給食センター費 施設設備工事 4,350万円**
 平成9年から約25年間修理を重ねながら使用してきた大型の空調設備が故障し、冷房が使用できないため、新規に製作し設置する。工事費の内訳は、空調設備の製作費、ダクトや配管の設備費、電気工事や撤去工事など。

主な議案の採決

議員名

件名 (9月定例会)	佐藤 永子 (自)	長谷川 真也 (未)	増田 秀雄 (未)	福井 和義 (自)	吉田 俊一 (共)	田口 義博 (自)	高橋 昭男 (自)	高野 祐大 (自)	平野 千穂 (共)	砂川 清時 (自)	松岡 高志 (無)	村上 真由美 (公)	川上 力 (公)
職員の育児休業に関する条例の一部を改正する条例(議案第56号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松伏町手数料条例等の一部を改正する条例(議案第60号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度松伏町一般会計補正予算(第4号)(議案第62号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度松伏町一般会計歳入歳出決算の認定について(議案第67号)	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
令和3年度松伏町国民健康保健特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第68号)	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
令和3年度松伏町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第70号)	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
令和3年度松伏町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について(議案第71号)	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
<意見書>													
衆議院小選挙区選出議員の選挙区の改正案に関する意見書(発議第11号)	◎	○	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○
女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書(発議第12号)	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
政府の原発依存政策に反対し、再生可能エネルギー大幅導入への転換を求める意見書(発議第13号)	●	●	●	●	○	●	●	●	◎	●	●	●	●
安倍晋三元首相の「国葬」の実施に反対する意見書(発議第14号)	●	●	●	●	◎	●	●	○	○	●	●	●	●

(○=賛成、●=反対、◎=提出者)(党派名) 自=自民クラブ、未=未来クラブ、公=公明党、共=日本共産党、チ=チェンジ松伏・無所属クラブ、無=無所属町民会議

委員会報告 見る・聞く・動く

総務産業常任委員会

発議第7号は否決、議会の思い発信必要

本委員会に付託された「発議第7号 地下鉄8号線の建設に向けた基金の再設置を強く求める決議について」は、3回にわたる審査が行われ、種々議論が交わされた。

委員会での意見としては、「基金の設置が地下鉄8号線の実現に結びつくかは難しい」などがあり、採決の結果、賛成少数により否決すべきものと決した。

委員会としては、9月定例会中に改めて全会一致の決議を行うことで、松伏町議会の地下鉄8号線に対する思いを、町民を含め、全ての方に届けた方が良いとの判断に至り、議会へ報告を行った。

文教民生常任委員会所管事務調査報告

調査日：令和4年8月4日（松伏町議会第二委員会室）

特別支援学級の児童生徒数、通級で指導を受ける児童生徒数の増加傾向について、町内の特別支援学級の数と児童生徒数の状況、特別支援教育の免許取得者と研修の状況、通常学級における発達障害等の子どもたちの現状とその対応、中学校支援学級生徒の進路状況について調査を行った。さらに、コロナ禍における学校の現状とその対応、不登校の心配がある子どもの現状とその対応について調査した。教育委員会の対応はインクルーシブ教育システムの構築等での特別支援教育の充実、不登校アセスメントシートの活用での支援等の説明を受けた。

意見書

※意見書の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

■衆議院小選挙区選出議員の選挙区の改正案に関する意見書

可決

■女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

可決

■政府の原発依存政策に反対し、再生可能エネルギー大幅導入への転換を求める意見書

否決

■安倍晋三元首相の「国葬」の実施に反対する意見書

否決

決議

※決議の要旨等については、町議会ホームページに掲載しています。

■地下鉄8号線の建設の実現に向けた基金の再設置を強く求める決議

否決

■地下鉄8号線誘致のため地域振興の基礎整備事業等を促進するために必要な措置を求める決議（一部省略）

全会一致

可決

地下鉄8号線誘致促進のためには、道路整備に合わせた計画的土地利用と企業誘致を進めて税収の確保を図り、町の賑わいの創出や定住化の促進、町内外の交流の場となる地域振興の基盤整備など、町づくりの骨格となる事業を進めることが必要である。

■松伏町議会改善改革特別委員会を設置する決議

全会一致

可決

松伏町防災備蓄センターが完成

9月1日に全議員が視察しました。

令和4年7月に竣工した「松伏町防災備蓄センター」は、敷地面積835.35㎡、庁舎の構造階数は鉄骨造2階建、延べ床面積は599.38㎡となりました。

備蓄資機材等

食糧品、アルファ米、お粥、水、粉ミルク、発電発電機、ブルーシート、真空毛布、真空カーペット、トイレ、オストメイトトイレ、ダンボールベッド、アルミロールマット、子ども用おむつ、大人用おむつ、使い捨て哺乳瓶、粉ミルク、生理用品、マスク、フェイスシールド、ガウン、除菌用ワイパー、消毒液、避難所開設キット、ワンタッチパーテーション、クリーンフローホース



令和3年度 政務活動費報告

◆政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、町が条例を制定し、松伏町議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付される。

政務活動費は、会派が行う調査研究、研修、会議、資料作成、資料購入、広報、事務等町政の課題及び町民の意思を把握し、町政に反映させる活動その他住民福祉の増進を図るために必要な経費に対して交付される。

交付対象……松伏町議会議員で構成される会派 交付額……月額10,000円×所属議員数
(単位：円)

会派名	所属議員数	交付額	活動支出額	残額(町へ返還) 預金利子含む	主な内容
自民クラブ	5人	600,000	221,238	378,764	資料購入費・広報費・事務費
未来クラブ	3人	360,000	55,504	304,497	資料購入費・事務費
公明党	2人	240,000	115,209	124,791	調査研究費・資料購入費・事務費
日本共産党	2人	240,000	228,054	11,946	調査研究費・研修費・資料作成費・資料購入費・広報費・事務費
無所属クラブ	2人	140,000	92,650	47,350	研修費・資料購入費・事務費
チェンジ松伏	1人	120,000	26,688	93,312	資料購入費・事務費

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

※年度途中の会派結成・解散・脱会等により、所属議員数と交付額にずれが生じる場合があります。

※町ホームページに収支報告書、出張調査報告書を掲載しています。

町政に関する

一般質問の主題

増田 秀雄

- 松伏町における防犯活動
- ギガスクールの進捗状況
- 中学校における部活動（文化部、運動部）の民間委託

村上 真由美

- 生涯にわたる文化・スポーツ活動への支援充実
- ファミリーシップ登録制度などの導入と災害時の性的マイノリティに対する支援計画

川上 カ

- 成年後見制度を紹介するエンディングノートの作成と講座の開催
- 自治会に対する公共施設の減免措置拡大
- 小中学生にWi-Fiルーターの無償貸し出し事業と通信料の補助

砂川 清時

- 新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの無料配布
- オミクロン株対応ワクチンの接種体制

福井 和義

- 人生100年時代の介護

田口 義博

- 教育行政
- 令和4年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)

高野 祐大

- スマホですべての行政手続きを60秒以内に
- 県の公共交通の利便性向上検討会議で指摘された、地下鉄8号線の新駅周辺のまちづくり

平野 千穂

- 高齢化がすすむなかでの地域共生と公共交通政策の充実
- 外国籍の児童生徒に対する日本語学習のサポートを
- 障がいを持つ子どもたちへの支援・教育体制の充実を

吉田 俊一

- 大雨に備えた水害対策強化（大落古利根川の土砂しゅんせつ、八間堀悪水路の整備）
- 町民へのアンケート実施状況、集計や分析の進捗
- 松伏町国民健康保険税の子どもの均等割の減額を拡大し、無料化をめざせ

9人の議員が町政を問う



ますだ ひでお
増田 秀雄（未来クラブ）

Q 松伏町における防犯活動について

A 地域の防犯意識の高揚に努める

問 町で行っている防犯対策について。
答 **総務課長** 防犯灯の設置や公共施設の防犯カメラ等の施設整備も重要であるが、地域における防犯意識の高揚が非常に大切だと考えている。また、下校時間に児童の声で録音した防災行政無線を放送し、各地域の皆様には生徒の見守りを意識して頂く取組みも実施している。今後の防犯対策は、引き続き吉川警察署、吉川地区防犯協会や自主防犯活動を実施している地域の方々などと連携、協力を深め犯罪の発生抑止に努めていく。情報発信は、防災行政無線のほかホームページやマップメール、ツイッターがある。

問 ギガスクールの進捗状況について。
答 **教育総務課長** 松伏町の各小中学校においては、積極的にタブレット端末を活用しており、校内通信ネットワークの整備を進めています。また子供たちをだれ一人取り残すことのない個別最適化された学びを推進していくため、教職員のICT活

用指導力の向上のための研修会を実施してまいります。また、授業においても、情報活用能力の育成や、情報モラル教育の充実を図り、適応指導教室やさわやか相談室に通う子供たち、不登校の子供たちが学校や教師とよりつながりがもてるよう、ICTの活用を進めていく。



松伏記念公園テニスコートに設置された防犯カメラ



むらかみ まゆみ
村上 真由美 (公明党)

Q LGBTQ図書コーナー設置を

A 特集展示コーナーとして検討する

問 パートナーシップ認証制度について、当事者は1日も早い導入を待ち望んでいる。工程表をつくり見通しを明確に示せないのか伺う。

答 **町長** その人らしく生きられる社会づくりのため、早い時期に制度構築をしていきたい。

問 パートナーシップ制度の導入とともに、教育・啓発活動が大事だ。公民館や学校図書館にLGBTQコーナーを設けるなど出来ないか。

答 **教育文化振興課長** 特集展示コーナーとして、季節や時期を調整して設置することを検討する。

問 災害時の性的マイノリティに対する支援計画を作ることも、当事者団体の要望のひとつだ。防災計画に反映するようにしてはどうか。

答 **総務課長** 地域防災計画への反映等も含め、調査、研究していきたい。

問 近年では全国大会や関東大会などに出場をして

いる団体もある。全国大会などに出場した文化・スポーツ団体への旅費の支援などを行ってはどうか。

答 **教育文化振興課長** 現在、町では、全国大会や関東大会等の出場に対する支援制度はない。

町長 県大会から関東大会、そして全国大会のバランスなど近隣の市町村を調べた上で、町民の方を励ませるような補助金等をつくってほしいと思っている。



男性、女性、オス、メス、異性愛、同性愛
トランスジェンダーなど様々な性別を表したマーク



かわかみ つとむ
川上 力 (公明党)

Q エンディングノート作成と講座を

A ノートの効果は高い作成検討する

問 成年後見制度の窓口にもなっている地域包括支援センターの相談体制の強化を。

答 **いきいき福祉課長** 成年後見制度の相談件数は増加傾向にある。相談体制の強化として、第9期介護保険事業計画で地域包括支援センターを増設する考えであり、令和6年度以降は2か所の地域包括支援センターで機能的な相談体制を構築できる。

問 終活を手助けするエンディングノートを作成し成年後見制度の紹介や関係する講座の開催を。

答 **いきいき福祉課長** 町としてもエンディングノートがもたらす効果は高いと感じている。今後エンディングノートの作成を検討するとともに、介護予防事業と並行してエンディングノートの記入方法の講座を開催するなどその普及に努めていきたい。

問 自治会活動における公共施設の減免措置拡大を。

答 **教育文化振興課長** 減額・免除の可否は町の判断だが、他市町の状況等を踏まえ調査研究していく。

問 家庭にWi-Fi環境のない小中学生の学習機会の拡充・確保に、Wi-Fiルーターの無償貸し出し事業と通信料の補助を。

答 **町長** 現段階では各家庭にWi-Fi環境が必要な段階ではないと認識しているが、子供たちに学習機会の差が生じてはならないとも認識している。関係課に調査研究を指示している。





すながわ きよとき
砂川 清時 (自民クラブ)

Q オミクロン株ワクチン接種体制は

A 個別接種や集団接種で対応する

問 オミクロン株対応ワクチン接種体制について現時点での町の状況と、考え方は。

答 **すこやか子育て課長** 接種対象者は、初回接種（1回目及び2回目接種）を完了した者。対象人数は約1万8,000人と想定、個別接種や中央公民館での集団接種を実施できるように準備。

問 オミクロン対応ワクチンはどのようなものか。

答 **すこやか子育て課長** オミクロン株（BA.1型）と従来株に対応した2価ワクチンで、ファイザー社とモデルナ社。現在主流のBA.5型にも効果が期待できると国の説明があった。

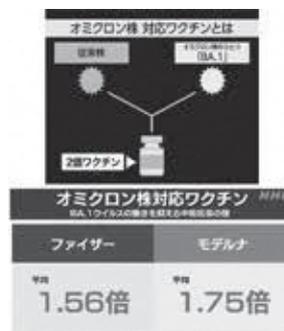
問 新型コロナウイルス感染症抗原検査キットの無料配布にあたっての趣旨は。

答 **すこやか子育て課長** 7月からのオミクロン株による感染患者の急激な増加に伴い、医療機関がひっ迫する恐れがあった。そこで、無料配布キットにより、自己検査を行い、陽性でも症状が軽い

場合は、医療機関を受診することなく確定診断を行える体制を整えた。

問 町内における無症状の方に対するPCR検査、抗原検査の無料化事業について。

答 **すこやか子育て課長** 県内の薬局・ドラッグストアで無料で検査を受けられる。町内でも1店舗あり、県のホームページに掲載されている。



出典：NHK首都圏ナビより（一部改変）



ふくい かずよし
福井 和義 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q 人生100年時代の介護

A 就労を含む社会参加が必要である

問 総務省は、令和3年9月20日敬老の日に合わせて、65歳以上の高齢者の推計人口は3,640万人と発表した。

また、松伏町の人口は、令和4年6月1日現在、2万8,451人で毎年約300人減少していて、少子・高齢化が進んでいる。

そして、高齢者が増加し、介護士、介護施設の不足が予測される。

これらの問題を解決するには、①介護士の確保、②介護施設の増設、③地域包括ケアシステムの充実、④介護サービスの充実、⑤介護予防の充実が必要である。

(1)、町は、人生100年時代の介護について、どのように認識しているか。

答 **いきいき福祉課長** 厚生労働省によると、2040年を展望した社会保障働き方改革では、日常生活を制限されることなく過ごせる期間を健康寿命と呼んでいる。

この健康寿命を2016年に比べて3年延ばし、2040年までに男性の健康寿命を75.14歳、女性の健康寿命を77.79歳を目指すとしている。さらなる健康寿命の延伸を図るためには、元気な高齢者が、就労を含む社会参加、介護、認知症予防など、要介護者の減少を促す取組が必要であると認識している。



松伏町地域包括支援センター



たぐち よしひろ
田口 義博 (自民クラブ)

Q 全国学力テスト結果の公表を

A 分析結果など公表していく

問 令和4年度に実施された「全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）」の結果から見た特徴は。

答 教育総務課長 松伏町の令和4年度の平均正答率は、全教科において全国平均値を上回ることができなかった。小学校では算数と理科、中学校では全教科で全国平均値との差を縮めることができたが、小学校は国語、中学校では数学に課題がある。

問 各教科に見られた特徴・課題を、町教育委員会は各小中学校に対し、どのように指導していくのか。

答 教育総務課長 校長会や校内研修での指導で周知する。指導改善のポイントを生かした授業改善は、町学力向上推進委員会等で具体策を研究していく。

問 秋田県能代市は、毎年優秀な成績を上げている。「全国学力・学習状況調査」の分析結果を公表している。松伏町でも公表すべきであると思うが、町の考えは。

答 教育総務課長 今までもホームページ上において分析結果については公表している。公表することは保護者や地域の方々にも学力向上に対する関心を高める。今年度から分析結果と指導のポイントを明記する。

問 教員の時間外勤務の実態はどの様に。

答 教育総務課長 年間360時間超の教職員の割合は令和2年度57.1%、令和3年度75.2%。

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果概要（松伏町）
教科に関する調査結果 (単位：%)

調査科目	小学校			中学校		
	松伏町	埼玉県	全国	松伏町	埼玉県	全国
国語	61(62)	67	65.6	68(60)	70	69.0
算数	63(66)	64	63.2	48(52)	52	51.4
理科	63(54)	65	63.3	46(62)	49	49.3

※ () 内の数値は、令和3年度の調査結果。中学校理科は、平成30年度。



たかの まさひろ
高野 祐大 (チェンジ松伏・無所属クラブ)

Q すべての行政手続を60秒以内に

A より簡単に便利な行政手続が推進

問 スマホですべての行政手続を60秒以内を成し遂げるために必要な、Gov-Cloud移行後に考えられる、町民サービスの向上については。

答 企画財政課長 町民にとっては場所や時間に制限なく、スマートフォンあるいはタブレットからでも手続が行えるようになる。役場に来庁される移動時間、待ち時間が削減ができ、より簡単に便利な行政手続が推進されるものとなる。

問 その準備として、自治体が取り組んでいかなければならない。Gov-Cloud移行に向けた町の取組は。

答 企画財政課長 令和7年度末までに移行できるよう調査、比較分析、移行計画の策定を進めているところ。関連して、令和5年度から子育て支援、介護関係等の手続がオンライン申請できるよう、申請フォームの作成、動作検証、例規整備などに、順次、取り組んでいく予定である。

問 町がGov-Cloud上のアプリケーションに移行を

想定している業務は何か。

答 企画財政課長 地方公共団体情報システムの情報化に関する法律に定められた、子育て、税、障がい福祉、介護、国民健康保険関係などの事務が対象となっている。松伏町の場合、県の事務、具体的には児童福祉手当、生活保護等除く18事務が該当するものと想定をしている。



出典：デジタル庁「日本のデジタル度2021」



ひらの ちほ
平野 千穂 (日本共産党)

Q タクシー券事業の対象拡大を

A 妊婦へのタクシー割引を検討する

問 『高齢者タクシー券事業』に、妊婦や65歳から74歳でも運転免許証を取得していない、又は免許返納した方も対象とできないか。

答 **いきいき福祉課課長** 免許取得していない、又は運転経歴証明書がない方は、把握する事が困難。

問 埼玉県内では、越生町、皆野町、嵐山町、神川町などが運転免許証を所有していない事を条件に年齢を引き下げているため、導入検討はできるのでは。妊婦を対象とした場合、町内の年間出生数は過去3年平均115人のため約38万円で実施できる。

答 **町長** かねがね各議員から循環バスの要望がある。10月下旬に幸手市に視察に行き、杉戸町と幸手市の動向を調査・研究していきたい。妊婦については、町中に出産できる病院がないため、タクシーの割引があれば都合がいい。検討していく。

問 『買い物支援サービス事業』は、地域での意向調査、アンケート調査は行ったのか。地域の方々か

らは、「なぜ集合場所は築比地上なのか、下のほうが利用希望が多いのではないか。」「行き先に、スーパーだけでなく役場等々も加えてほしい。」など、いろいろな意見があるようだ。

答 **町長** 町でアンケート等は取らなかったが、2か所の集合場所でスタートし、10月から3か所に増やす。他の所でも、ニーズがあれば拡大するという気持ちがたくさんある。



「買い物移動支援サービス モデル事業」
松伏町社会福祉協議会ホームページより



よしだ しゅんいち
吉田 俊一 (日本共産党)

Q 大雨に備えた対策、国県へ要請を

A 河川整備促進の要望を提出した

問 町内の主要な排水路の流末は大落古利根川に接続している。堆積している土砂をしゅんせつし河川断面積を確保することは、内水氾濫を未然に防ぐ上で重要だ。これまで、寿橋下流、古利根堰周辺のしゅんせつが実施されたものの、その後の計画がされていない。

答 **まちづくり整備課長** 大落古利根川に限定したものではないが、埼玉県町村会を通し、「埼玉県河川の整備促進について要望」を提出。その中で、河川増水時の流下能力を向上させるよう要望をしている。

問 7月13日夕方、寿橋下流しゅんせつがされていない、堤防が低い場所の写真。12日から13日にかけて埼玉県西部は記録を上回る大雨、町内も瞬間的に激しい雨が。今後、大変心配があると考えている。河川整備を計画的に実施するよう河川を指定し働きかけていただきたい。

答 **まちづくり整備課長** 寿橋下流部の左岸の一部で

堤防高が不足し、重要水防箇所となっている。毎年出水期前には、埼玉県と町で合同に現地を立ち会い、重要水防箇所の確認や、水防工法の確認等を行っている。重要水防箇所を解消することが大前提だが、河川のしゅんせつ等についても働きかけていきたい。



古利根川 寿橋下流 2022年7月13日



9月議会・傍聴者数			
9月1日	1名	9月9日	1名
9月5日	8名	9月15日	1名
9月6日	8名	9月26日	1名
合計		20名	

傍聴者の声

(抜粋です)

- LGBTQの町のガイドラインを作成したことはそれなりに評価できるも、パートナーシップの制度の導入に日時を要している。基本的人権尊重の観点からパブリックコメントを求めて早期導入を検討することはよいことと思う。
- 一般質問の質疑答弁の傍聴はそれなりに新しい情報入手、確認などに役立つ。更なる活発な答弁を得た答弁が期待される。
- 議会の活性化も重要な課題にて、委員会において十分議論し、意見集約の上、必要事項の改善改革を期待します。

笑顔あふれる楽しいスポーツ



グランドゴルフ



バードゴルフ

【編集後記】 松岡 高志

令和3年度の松伏町の決算はコロナ感染症対策事業に大きく影響を受けました。課題である、人口減の歯止めはかからない年でもありました。

議会会期中の9月25日に「松伏田島産業団地造成工事完成記念式典」が開催されました。進出する企業3社が決まっています。令和7年春、東埼玉道路一般部の田島までの開通とともに、数千人単位の雇用と町の人口増が期待できます。それには、「より住んでみたい町づくり」の推進です。議員一同努力してまいります。

- 議 長 増田 等
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 松岡 高志
- 委 員 平野 千穂
- 委 員 増田 秀雄
- 委 員 砂川 清時
- 委 員 村上 真由美
- 委 員 高野 祐大